



第十二回町民のつどい 清風キャラバンに参加しよう

夏の恒例行事となった町民のつどい「清風キャラバン」が七月十二日(出)十三日(回)の二日間開催されます。

郷土三隅の先駆者「村田清

風」先生が少年時代に通われた萩三隅間を自分自身の足で踏みしめ、先生の遺徳を偲ぶと共に、町民のふるさと意識の高揚と体力の向上を図り、団体活動に於いて、町民相互の親睦を深め、明るい住みよい町づくりを寄与することを目的としています。

毎年、回を重ねるごとに内容等も少しずつ充実してきたものの、今一つ参加者が少ない様に思われます。

小・中学生はもとより、高校生、一般町民の皆さんの幅広い参加をお願いします。

ただ今参加者を募集しております。詳しいことは、三隅町公民館事務局までお問い合わせください。

☎ 三〇八一

ぐりの神事となったのである。当日は茅輪がとりつけられる頃からお詣りがはじまり、夕刻提灯に灯が燈る頃ともなると社前は茅輪くぐりの参詣の人々で賑い、鈴の音も夜半までも鳴りやまない。

この茅輪のくぐり方は輪の正面を左足から入り左側に廻

り、次に右側、更に左側に廻り三回管貫して終る。その間の唱え言葉は次の通りである。一みな月のなごしの抜する人は、千年の命のぶといふなり。一思ふ事みなつきねとて、麻の葉をきりにきりても抜いつるかな。

一蘇民将来、蘇民将来(繰返

す) 又とこころによれば人形、形代などを神社に納めたり、川に流したり、或は海水に浸って身体を清めたりしている。一般にこの日には農耕の牛馬を川に入れて遊ばせる風習がある。

古屋正資
参考資料 諸祭式要綱

おもちゃ花火も

原料は火薬

冷やしそうめん、スイカ、風鈴……夏の風物詩はいろいろありますが、庭先などで興じる花火は夏の夜ならではのものです。

しかし小さなおもちゃ花火とあなどってはいけません。飛んだ花火でとんだ事故をひき起こさないように、ぜひ次のことに注意しましょう。

- 安全な場所を選ぶ。
- 気象状況を考えよう。
- 子どもだけで遊ばせないようにしよう。
- 注意書きをよく読み、花火をほぐしたり、数本まとめて点火しないようにしよう。
- 水の入ったバケツを用意しよう。

あなたの「気持ち」を
困っている人に



みなさんの
あたたかい
ご協力をお願いします

献血は 200 ml ・ 400 ml
どちらでも選択できます。

♥採血日時及び場所
7月28日(月)
10:00~12:00 役場前
13:30~15:30 三隅勤スポ

♥献血者の送迎もいたします。
献血手帳をお持ちの方は当日必ずお持ちください。

献血の基準	400 ml	200 ml
年齢	満18歳~満64歳	満16歳~満64歳
体重	男女共50kg以上	男45kg・女40kg を超える方
献血間隔	男子 3か月 女子 4か月	男女共 最低1か月

柔道の猛者引返す蛇の径 田村 九重
山草を押し分く音や大の蛇 岩本さつき
黒南風にしばみて散るや葵花 山崎 菊女
短夜の安らげく生き七十路 山野たけ子
宮永ミネ子
短夜や記憶の人をたぐりよせ

短夜の語り盡くせぬ旅の宿 山中 重女
短夜や噴水の音耳に憑く 仁保 民子
看護夫短夜さらに明け待たれ 菅見 梅雪
選者追吟 永田 石山
泰山木花ふっくりりと朝の庭